

来年から
どうなる!?

PTA 委員会活動特集

コロナ禍で、活動自粛&縮小していたPTA活動。来年度の活動は、そもそもどうなるのか？
気になる今後の委員会活動や、来年度の委員会メンバー選出方法について、ご案内します。

今まで、「新学期早々のPTA 委員決め」というと、
ネガティブなイメージが多かったのではないのでしょうか。



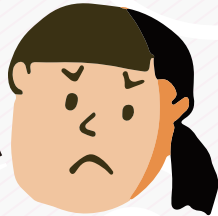
卒業までに**何回**やればいいのか？
気づけば毎年何かやっている。
結局卒業までに
何回やるべきなの？

平日は**仕事**があって
参加したくても
できない。



委員？ 係？ 当番？
どんな差があるのか、わかりにくい。

新学期が**憂鬱**。
委員会が決まるまで
帰れない。



このような不満の声が聞こえる中、根拠のない憶測の噂が出たり、
委員決めが難航するクラスもありました。

そこで！

2019年度の本部役員・学年委員の方々が中心となって、風通しの良い、参加しやすくなるPTAを目指し「委員係決め対策チーム」を発足しました。

発足当初に実施したアンケートでは「仕事量が多い」「もっと活動を減らせないか」という意見がとても多かったため、委員会・当番・係の担当内容を精査し、1年間かけてPTA活動のスリム化を行いました。

本来、2020年4月の保護者会では、スリム化した内容で委員会、委員決めでスタートする予定でしたが、突然の新型コロナウイルス感染防止対策による休校で「委員会」自体活動自粛となりました。

そして、今年度、2021年。

※2年に1度の参加!

※家庭数で、2年に1度の参加とした場合に運営できる人数を想定しました。

各委員会のビフォーアフター

委員・係・当番の活動内容を見直した結果、PTA活動に携わる保護者の人数を合計412名→210名に減らすことができました。 ※令和2年度配置人数より

学年委員 - 先生と保護者のパイプ役 -

OLD

学年委員
選出：各クラス2名
・給食試食会

オウム当番(係)
選出：各クラス2~4名

NEW

学年委員
選出：各クラス 2名

《主な作業》

- ・担任の先生との懇談会
- ・クラス費での物品購入
- ・保護者懇談会・茶話会の企画、実施
- ・次年度の委員決めの司会進行

家庭教育学級委員 - 多方面での学びを企画します -

OLD

家庭教育学級委員
選出：各クラス1名

NEW

家庭教育学級委員
選出：1~5年 クラス数 × 1名

《主な作業》

- ・給食試食会
- ・講座の企画、実施

講座の企画、実施回数は、年2~3回 → 年1回以上

校外安全委員 - 子どもたちの安全のために! -

OLD

校外安全委員 選出：各クラス1名

地区委員 選出：各クラス4名

青少年地区委員会 お手伝い(係) 選出：1, 3~6年 各クラス1名

自転車安全教室(係) 選出：2年 各クラス1名

- ・安全係
こどもをまもろう110番
- ・青少年係
じゃがいも掘り、炊事遠足、広告物撤去、少年野球大会、中学生のつどいのお手伝い

NEW

校外安全委員
選出：1~3年 クラス数 × 2名
4~6年 クラス数 × 1名

《主な作業》
※以下の6つの係よりひとつを担当する

- ・母の会係
成城交通安全母の会の活動
- ・リサイクル係
- ・地区委員 地区班活動
- ・自転車安全教室係 (2年)
例年2月に開催の自転車安全教室のお手伝い

広報委員 - HOTな情報を伝えます -

OLD

広報委員 選出：各クラス1名

教職員紹介号(係) 選出：各クラス1名

NEW

広報委員
選出：1~5年 クラス数 × 1名

《主な作業》

- ・広報誌と教職員紹介号の発行

広報紙「からきた」発行回数 年2~3回 → 年1回以上

役員選出委員 - 次年度のPTAの役員さんを選出 -

OLD

役員選出委員 選出：各クラス1名

総会(係) 選出：2, 4, 6年 各クラス1名

NEW

役員選出委員
選出：1~5年 クラス数 × 1名

《主な作業》

- ・定期総会開催の準備、実施
- ・次年度の役員選出活動

NEW 学校行事委員 - 学校行事のサポーター役 -

OLD

運動会(係) 選出：各クラス3名

展覧会/学芸会当番(係) 選出：各クラス2名

周年行事 (5年に1度) 選出：各クラス2名

5ブロックバレーボール大会当番 (8年に1度) 選出：各クラス2名

NEW

学校行事委員
選出：1~5年 クラス数 × 2名 (*)

《主な作業》

- ・運動会、展覧会/学芸会、周年行事、5ブロックバレーボール大会当番のお手伝い

(*)行事開催の年度により募集人数が変動します。

- ①通常行事(運動会、展覧会/学芸会)のみ 1~5年 クラス数 × 2名
- ②通常行事+5ブロックバレーボール大会当番 1~5年 クラス数 × 8~10名
- ③通常行事+周年行事 1~5年 クラス数 × 10~12名

NEW 地域まつり委員 - 地域イベントのサポーター役 -

OLD

親子木工まつり(係) 選出：1,3,5年 各クラス1名

新年子どもまつり(係) 選出：各クラス1名

NEW

地域まつり委員
選出：4年 クラス数 × 2名
1~3, 5年 クラス数 × 1名

《主な作業》

- ・例年8月の「木工まつり」と2月の「新年こども祭り」両方を担当する

◆ ボランティア化 ◆

一輪車点検係
選出：1~3年 各クラス1名

➔ **選出の廃止**

バレーボール部がボランティアで点検活動を行う。
※情勢によって休止します

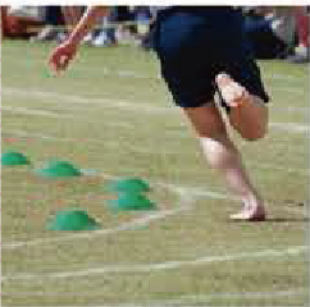
ベルマーク係
選出：各クラス1名

➔ **選出の廃止**

ベルマーク回収箱を各クラスに設置し、本部役員が主導でボランティアを募集する。



令和4年 1月発行
鳥山北小学校PTA
広報委員会



- 2-4p ●特集1 からきたICT教育
- 5p ●特集2 「おはなしのへや」ってどんなところ?
- 6-7p ●学校クイズ この木はど~こだ?
- 8p ●くるくるばんく



からきた ICT教育



先生
(ICT担当)

いきなりですが、10年前、みなさんはどんな「ICT機器」を使っていましたか？携帯電話を例にとって考えてみましょう。2010年6月、iPhone4が発売されました。私の初めてのスマホは、このiPhone4でした。日本初上陸のiPhoneは、3G（背面が曲線のキラキラしたモデル）ですので、車両の中で一人くらいいた「あ、あのiPhoneだ！」の人に、ちょっとした憧れを抱いていたような時代でしょうか。多くの人は二つ折りのガラケー。そんな10年前のイメージ、少し持てましたか？学校現場では10年前、どんな「ICT機器」を用いていたかという、学校に数個しかない大きなプロジェクターを教室に運び、教育番組をDVDプレイヤーで流していました。パソコン室でしか使えないインターネットは、みなさんが一斉に使うと非常に低速になりました。それでも、パソコンが使えることに子どもたちは目を輝かせていました。

近年、文部科学省が進める「GIGAスクール（Global and Innovation Gateway for All：全ての児童・生徒のための世界につながる革新的な門）」により、学校現場にはICT環境が急速に推進され、一人一台のiPad等の学習用タブレット端末に加え、学校の中に無線によるインターネット環境が整備されました。これにより変わったことは、①「双方向コミュニケーション」②「学習の個別最適化」③「効率的なデータ活用」の3点です。

子どもたちは、お家にタブレットを持って帰っていると思います。どのような活用が期待されるか、上の3点から考えてみましょう。

- ①では、どんな場所からでも、教室の情報をキャッチするだけでなく、教室に自分からアクセスして情報交換をすることができます。教室の外からでも授業に参加することができます。世田谷区では「ロイロノート」を活用し、教員と児童のタブレットをつないで情報交換ができるようになっています。
- ②では、学習をデータとして蓄積させることで一人一人に最適な学習を行うことができるようになっています。世田谷区では3年生以上を対象にAI型タブレット教材「Qubena（キュビナ）」を用いて、一人一人に合わせた学習ができます。
- ③では、今まで紙を用いていた生活科や理科での観察や、実験の記録などの情報処理をデータ化することができます。ここに書いた3点以上に、様々なことができるようになると思われませんが、その活用方法は学校現場でも模索中です。スマートフォンステップで活用していきたいと思いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

学習用タブレット端末を使う上で大切なポイントは、「タブレットは目的でなく、手段である」ということに尽きると思います。タブレットを用いてICT技能を高めたわけではありません。あくまで目的は、学びを深めるためです。そのために児童には、ICT機器を文房具のように活用できるようになってほしいと思います。そして、何でもかんでもタブレットではなく、目の前の課題解決のために、ノートを使うべきか、タブレットを使うべきか、自分で選択できるようになってほしいのです。

10年後、子どもたちが大人になるときは、どんな新しいICT機器が登場するでしょうか。我々には想像できないようなものができるのでしょうか。そして、その新しいものが目の前に現れたとき、どのように用いればよいか適切に判断する力こそ、これからの情報化社会を生き抜く力だと思います。ICT機器を効果的に使って、たくさん学びをさせていきましょう。

ICT支援員の さんにインタビューしました!



さん
(ICT支援員)

Q 経歴を教えてください。

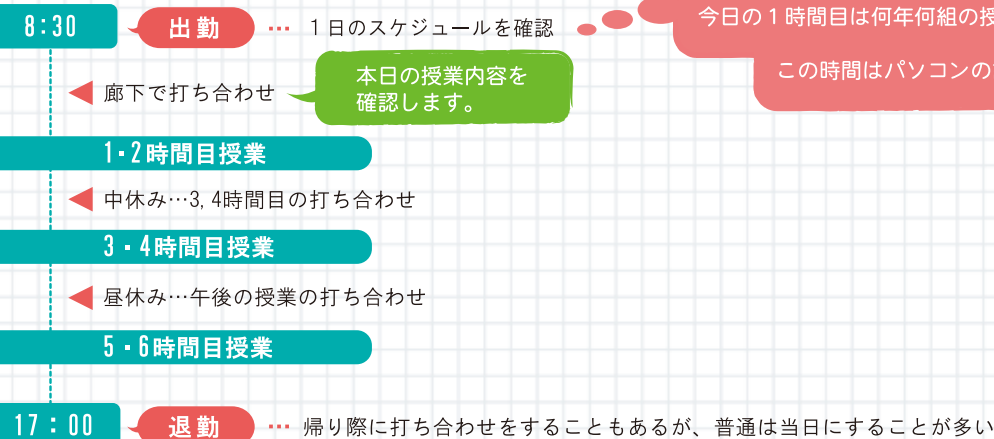
A. 学校が工学部で、研究などでパソコンを使わざるを得ない環境にいたときに、パソコンを好きになったという興味を持ちました。一番最初の仕事はパソコンとは全く関係のない、発電設備の営業職でしたが、パソコンの能力を周りから評価されて…25年ぐらい前、Windows95とかそんな時代ですよ。 「今度はパソコン関係の仕事に入ろうかな。」と会社を辞めてから、街にあるパソコン教室にかなり長くおりました、その後、ICT支援員になって8年ぐらいです。私は今までの仕事のほとんど、9割近くがパソコンの仕事です(笑)

Q ICT支援員としての現在の業務内容とは？

A. 世田谷区内で烏山北小を入れて3校、狛江で1校、全部で4校担当しております。大変ですが、同じようなトラブルや質問がありますので、最初に苦労したとしても、他の学校で生かすことができる利点があります。業務内容としては授業支援がメインで、トラブル対応、先生方の質問対応、各種アカウントの設定等もあります。

Q 1日のスケジュールを教えてください。

烏山北小でのとある1日



Q ロイロノート・スクールについて教えてください。

A. インターネット上でアクセスできるノートですね。ネットの環境があれば、場所を選ばずに家からでも課題を提出できるのが利点です。(時間は選んでほしいです。先生は提出時間を設定することができます。)仮想の教室を作り、ノートを共有することもできます。仮想の授業ができるので「インターネット上の教室」と思ってよいのではないのでしょうか。

※ロイロノートとは 写真、動画、テキスト、Webなどのカードを線でつなぐだけで簡単にプレゼンテーションが行えるツール。(アプリ LoiLo inc「ロイロノート」より)





WEB限定! からきたPTA活動通信

令和3年度 第1号

令和3年7月発行：鳥山北小学校PTA広報委員会

令和3年7月上旬

運営委員会より



第2回運営委員会の議案を承認していただき、ありがとうございます。
この承認をもって令和4年度PTA役員、および委員決めを秋に同時開催することになりました。
つきましては10月頃に相談会を行う予定です。詳細は2学期に発行するお便りをご参照いただけますようお願いいたします。

役員選出委員会一同 & 学年委員会一同

令和3年7月上旬

安心・安全でおいしい給食!

子どもたちにとって毎日の給食はとても楽しみなもの。安心・安全で栄養バランスの考えられた鳥山北小の給食について、栄養士の 〇〇〇 さん、そして給食室チーフの 〇〇〇 さんにお話を伺いました。

◆「学校給食摂取基準」の数値をクリアしつつ色や形にこだわっています

摂取基準の数値をクリアするために、例えば細かくしたレバーをミートソースやジャージャー面の餡に混ぜたり、緑色の野菜を細かくしたりして、子どもがニガテ意識をもたずに食べてくれるような工夫をしています。また、みんなが楽しく食べられるように、例えばスープにアルファベット型のマカロニを入れたり、ちらしずしに星形ののりを自分で乗せて食べたりする七夕メニューなど、目でも楽しんで食べてもらうことも大切にしています。



7月7日 ちらしずし、小玉スイカ、セタ汁

◆安全・安心な給食

スープなどの「だし」は、かつお節、昆布、鶏ガラなどを使用し、当日の朝から給食室で煮出しています。

◆世界にも目を向けた給食メニュー

日本の食事だけでなく、ポトフやヤンニョムチキン、パエリアなど世界のいろいろな国のメニューも取り入れて、将来世界でも活躍するであろう多くの子どもたちが日本以外の国も意識するきっかけにできればと考えています。

◆読書週間からめたメニュー

例えば「秘密のカレーライス」など、学校の図書室にある本の中から再現したメニューを実際に給食として提供し、「本はあまり好きではないけど読んでみたい」「給食で食べたメニューの本だから借りてみたい」といったような子どもたちの興味の幅を広げるお手伝いもしています。

いろいろな切り口でさまざまな角度から幅広い味を体験できるように、また給食も大切な食の学びとなるように、子どもたちに寄り添ってくださっていることを実感しました。衛生基準も厳しく守って、安心・安全な学校給食を日々提供して下さっていることに感謝の気持ちを強く持ちました。



よみかせボランティア

メンバー募集中!

提供して下さっていることに感謝の気持ちを強く持ちました。

よみかせボランティア

『そらいろのたね』メンバー募集中!



私たちは朝活動の時間に子どもたちに絵本をよみかせしています。

感染症対策をして活動中。

気になる方は代表アドレスかQRコードにてご連絡ください。あなたのご参加お待ちしております。子どもたちを楽しい時間を過ごしませんか?学校HPにて「そらいろのたね」公開予定です。お楽しみに。

代表メールアドレス:



令和3年7月上旬

鳥山北小PTA広報紙「からきた」が第32回東京都小学校PTA広報紙コンクール優秀賞を受賞!



昨年度、PTAの情報を発信してありました情報紙「からきた(昨年度は教職員紹介号のみ発行)」「鳥山北小PTAだよりきずな~役選スペシャル」とメルマガ「WEB限定!からきたPTA活動通信」が、東京都小学校PTA協議会の広報紙コンクールで『優秀賞』を受賞しました。今後、広報委員より発行される「からきた」も皆さまに愛され「学校がスキになる!」広報紙を目指し頑張っております。

#2年連続入賞 #おめでとう #求むネタ

募集のお知らせ

あなたもWEB限定「からきたPTA活動通信」に記事を載せませんか?

今年度、広報委員ではWeb版の広報紙を4回発行いたします。皆さまお気軽にご利用ください。

【寄稿方法】

広報委員のメールアドレスまでご連絡ください。

メールアドレス:

件名:「からきたPTA活動通信掲載依頼」

本文:タイトル・掲載依頼の団体名・代表者・連絡先電話番号を記入の上、掲載する文書を150~200文字程度で作成して、送信してください。写真やイラスト・ロゴの掲載も可能です。原稿とともにデータを添付してください。写真の内容(児童の顔や個人情報)によっては掲載ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【締め切り】

締め切り後10~14日後に発行致します。

第2回: 令和3年10月8日(金)

第3回: 令和3年12月10日(金)

第4回: 令和4年2月4日(金)

【掲載方法】

鳥山北小学校のホームページにあるPTA欄に掲載し、ミマメルメでご案内いたします。

今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、予定を変更する場合もございます。本誌のご感想、ならびにPTA活動についてご質問などございましたら、下記メールアドレスへご連絡ください。

メールアドレス: